WARPSTAR

NEC

ND-23380(J)-02
2005年9月(F)

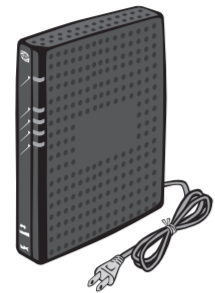
Aterm WR7610HV つなぎかたガイド(F) 第4版

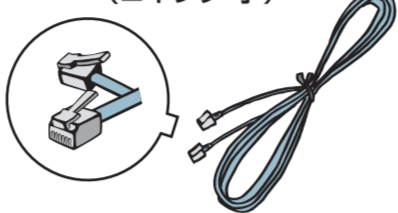
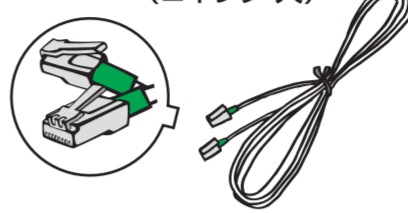
【お願い】本書は、読んだあとも大切に保管してください。

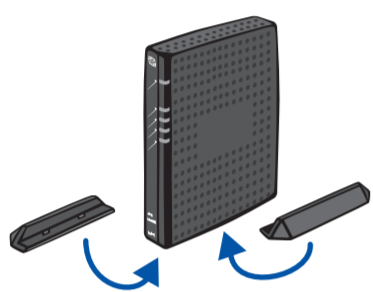
Aterm WR7610HV つなぎかたガイド

1 箱の中身をチェックしよう

本商品が到着したらすぐに添付品をご確認ください。不足しているものがありましたら、お申し込み窓口にご連絡ください。

□WR7610HV

□縦置きスタンド

□電話回線ケーブル（コネクタ:小）

□ETHERNETケーブル（コネクタ:大）

□つなぎかたガイド（本書）
□お使いになる前に（別冊）
□IP電話使いかたガイド（別冊）

2 接続して電源を入れよう

- 本商品は、直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  次のような使い方はしないでください。
  ・横向きに寝かせる
  ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  ・じゅうたんや布団の上に置く
  ・テーブルクロスなどを掛ける

※詳しくは、添付の「お使いになる前に」（別冊）に記載しておりますので、用法を守り、ご使用ください。特に、火災、感電などの原因となり、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。また、故障など物的損害の発生が想定されます。

パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

※パソコンにLANポートが必要です。
→3 の「パソコンの準備」参照

5 電話機を接続する

- ADSL専用回線タイプ（タイプ2）でIP電話をご利用の場合は、緊急通報（110、118、119など）はご利用になれません。
- IP電話と加入電話（NTT等）をそれぞれ別の電話機で使い分ける場合の接続方法は、ホームページ（http://www.aterm.jp/manual/p/7610hv/）内にある「機能詳細ガイド」－「IP電話の使い方」を参照してください。

※その場合、IP電話用の電話機からは緊急通報（110、118、119など）はご利用できません。

2 アース線を接続する

アース線は添付されていません。
お客様のご使用環境に合わせて別途ご準備願います。

→アース線の接続なしでも機器は正常に動作しますが、電撃等のお客様の安全上、アース線を接続してご使用ください。
詳細は「お使いになる前に」（別冊）に記載されている「⚠警告」の「電源」を参照願います。
なお、アース線は近くの電器店等にてお求めいただけます。

<本商品の背面>

7 電源コードを接続する

（POWERランプ点灯）

- 電源コードは、たこ足配線にしないでください。
- 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。

FTTH（光）/CATVの場合（主な接続方法）

A 壁にインターネットコンセントがある場合

3 壁面のRJ-45ポートに接続する

4 電話回線用モジュラージャックに接続する

B モデムがある場合

3 ブロードバンドモデムに接続する

4 電話回線用モジュラージャックに接続する

VDSL/ADSLの場合（主な接続方法）

C スプリッタ内蔵の場合

3 ブロードバンドモデムに接続する

4 電話回線ポートとブロードバンドモデムを接続する

電話回線 ケーブル / ブロードバンドモデム（VDSL/ADSL） / 添付のETHERNETケーブル / 添付の電話回線ケーブル / 電話回線ポート

D スプリッタありの場合

※VDSLでは、スプリッタのことをフィルタと呼ぶ場合があります。

3 ブロードバンドモデムに接続する

4 電話回線ポートとスプリッタなどを接続する

ブロードバンドモデム（VDSL/ADSL） / MODEM / 添付のETHERNETケーブル / LINE / スプリッタなど / PHONE / 添付の電話回線ケーブル / 電話回線ポート

接続が終わったら確認してください

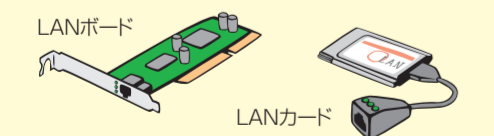
- 電源コード接続後、本商品のPOWERランプとブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑色に点灯することを確認してください。
  緑点灯しない場合は、ETHERNETケーブルの接続状態やブロードバンドモデムの電源を確認してください。
- ETHERNETポートにパソコンを接続している場合は、パソコンの電源を入れ、ETHERNETポート状態表示LEDが緑点灯することを確認してください。

3 パソコンのネットワークを設定しよう

■パソコンの準備

●LANポートの準備：
本商品を接続するには、パソコンにLANポート（ETHERNETポート）［100BASE-TX/10BASE-T］が必要です。装備されていない場合は、市販のLANカード／LANボードを購入して、取り付けとOSに対するドライバのインストールを行っておいてください。

●ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止：
本商品の設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトはいったん停止してください。
インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定を行ってください。停止しない（起動したままでいる）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
停止や設定の方法はソフトによって異なりますので、ソフトまたはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

●プロバイダから配布された接続ツールを停止：
プロバイダから配布されるPPPoEなどの接続ツール（例：フレッツ接続ツール）を停止しておいてください。

■WWWブラウザ（Internet Explorerなど）の準備

本商品は、下記のバージョンのWWWブラウザ（Internet Explorerなど）に対応しています。

Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE/98の場合
- Microsoft® Internet Explorer Ver.5.5以上に対応
- Netscape® 6.1以上に対応

Mac OS X/9.x/8.xの場合
- Microsoft® Internet Explorer Ver.5.0以上に対応
- Netscape® 6.01以上に対応

WWWブラウザの設定確認

インターネットに接続するには、WWWブラウザの接続設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっている必要があります。また、クイック設定Webを使用するときは「JavaScript®を有効にする」設定になっている必要があります。
設定されていない場合は、裏面の「クイック設定Webをご使用になる前に」を参照して設定してください。

Windows® XP

画面は、Windows® XPのカテゴリ表示を事例に記載したものです。
表示の切り替えかたは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

1. ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する
2. ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする
3. ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
4. ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックする
5. ［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する
6. ［OK］をクリックする
7. ［OK］または［閉じる］をクリックする
8. ［戻る］をクリックし、［ネットワークとインターネット接続］画面の［インターネットオプション］をクリックする
9. ［接続］タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は［ダイヤルしない］を選択する

10. ［OK］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

Windows® 2000 Professional

1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する
2. ［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックする
3. ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
4. リストの［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックする
5. ［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する
6. ［OK］をクリックする
7. ［OK］をクリックする
8. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する
9. ［インターネットオプション］アイコンをダブルクリックする
10. ［接続］タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は［ダイヤルしない］を選択する

11. ［OK］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

Windows® Me/98

画面は、Windows® Meを事例に記載したものです。

1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する
2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックする
3. リストの［TCP/IP->お使いのLANカード（またはお使いのLANボード）］を選択し、［プロパティ］をクリックする
4. ［IPアドレス］タブをクリックし、［IPアドレスを自動的に取得］を選択する
5. ［ゲートウェイ］タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する

6. ［DNS設定］タブをクリックし、［DNSを使わない］を選択する
7. ［OK］をクリックする
8. ［OK］をクリックする
9. 再起動の指示があった場合はパソコンを再起動する
10. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する
11. ［インターネットオプション］アイコンをダブルクリックする
12. ［接続］タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は［ダイヤルしない］を選択する

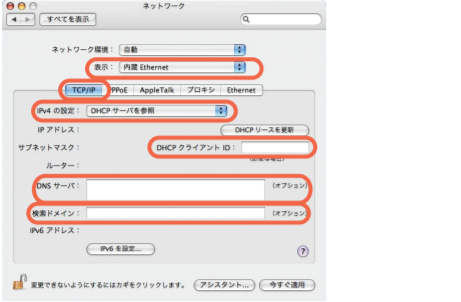
13. ［OK］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

裏面につづく

3 パソコンのネットワークを設定しよう (Macintoshの場合)

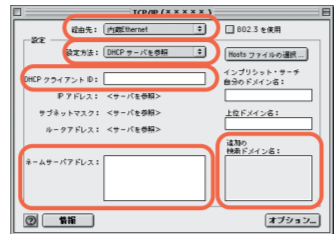
Mac OS X

1. アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する
2. ［表示］を［内蔵　Ethernet］にして、［TCP/IP］タブをクリックし、［IPv4 の設定］（または［設定］）を［DHCP サーバを参照］にする
3. ［DHCP クライアント ID］と［DNS サーバ］、［検索ドメイン］を空白にする

画面は、Mac OS X（v10.4 Tiger）を例にしています。上記OS以外をご利用の場合は、ご利用のOSのマニュアルをご覧ください。

4. ［今すぐ適用］をクリックし、ウィンドウを閉じる

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。
設定を変更しなかった場合は［今すぐ適用］ボタンが有効になりません。その場合は、そのままウィンドウを閉じてください。

Mac OS 9.x / 8.x

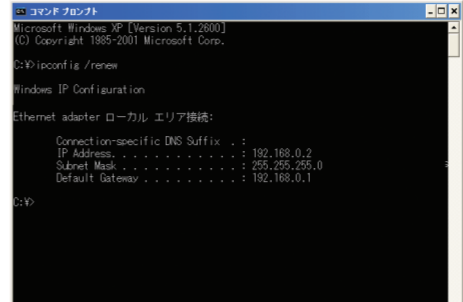
1. アップルメニューの［コントロールパネル］の［TCP/IP］を開く
2. ［経由先］を［内蔵 Ethernet］にする
3. ［設定方法］を［DHCP サーバを参照］にし、［DHCP クライアント ID］と［ネームサーバアドレス］、［追加の検索ドメイン名］を空白にし、ウィンドウを閉じる

画面は、Mac OS 9.2.2を例にしています。上記OS以外をご利用の場合は、ご利用のOSのマニュアルをご覧ください。

4. 確認のダイアログが表示されたら［保存］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

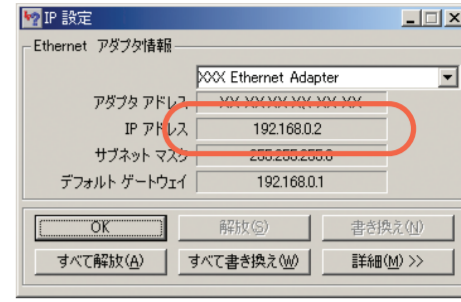
本商品とパソコンの接続を確認するには (IPアドレスの確認)

Windows® XP / 2000 Professional

1. パソコンの電源を入れ、本商品背面のETHERNETポート状態表示LEDが点灯することを確認する
2. パソコンが立ち上がったら、［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を実行する
   Windows® 2000 Professionalの場合は［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を実行する
3. ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、［Enter］キーを押す
4. ［Ethernet adapter ローカル エリア接続:］が表示され、IPアドレス（IP Address）が「192.168.0.×」になっていることを確認する
   （×は1を除く任意の数字です）

画面は、Windows® XPを事例に記載したものです。

5. 「exit」と入力し、［Enter］キーを押す

Windows® Me/98

1. パソコンの電源を入れ、本商品背面のETHERNETポート状態表示LEDが点灯することを確認する
2. パソコンが立ち上がったら、［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックし、「winipcfg」と入力後、［OK］をクリックする
3. ［Ethernetアダプタ情報］の ▼ をクリックし、お使いのLANカード／ボードを選択する
4. IPアドレスが［192.168.0.×］となっていることを確認する
   （×は1を除く任意の数字です）

5. ［OK］をクリックする

Mac OS X

1. パソコンの電源を入れ、本商品背面のETHERNETポート状態表示LEDが点灯することを確認する
2. アップルメニューから［システム環境設定］－［ネットワーク］アイコンを選択する
3. ［表示］を［内蔵 Ethernet］にし、［TCP/IP］タブをクリックして、IPアドレスが［192.168.0. ×］になっていることを確認する
   （×は1を除く任意の数字です）
4. ウィンドウを閉じる

Mac OS 9.x/8.x

1. パソコンの電源を入れ、本商品背面のETHERNETポート状態表示LEDが点灯することを確認する
2. アップルメニューから［コントロールパネル］－［TCP/IP］を選択する
3. ［経由先］を［内蔵　Ethernet］にして、IPの設定画面が表示されたら、IPアドレスが「192.168.0.×」になっていることを確認する
   （×は1を除く任意の数字です）
4. ウィンドウを閉じる

※ 本商品のIPアドレスは、初期状態「192.168.0.1」に設定されています。IPアドレスを変更する場合は、ホームページ（http://www.aterm.jp/manual/p/7610hv/）内にある「機能詳細ガイド」の「クイック設定Webの使い方」の「LAN側設定」をご覧ください。
※ IPアドレスが取得できなかった場合は、再度❷で接続を確認し、❸でパソコンのネットワークの設定を行ってください。

4 インターネット接続設定をしよう

❶ WWWブラウザ（Internet Explorerなど）を起動し、アドレスに「http://web.setup/」と入力して、クイック設定Webのページを開く

本商品のIPアドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）例：http://192.168.0.1/

WWWブラウザ（Internet Explorerなど）を起動したときに、「ページが表示できません」または「サーバが見つかりません」と表示された場合は、その状態のままアドレスに「http://web.setup/」と入力して、クイック設定Webのページを開いてください。
クイック設定Web のページが開かない場合は、「お使いになる前に」（別冊）の「トラブルシューティング」を参照してください。

クイック設定Webをお使いになるときは、WWWブラウザの設定が「JavaScript®を有効にする」、「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっている必要があります。
→下記「クイック設定Webをご使用になる前に」参照

❷ 管理者パスワードの初期設定を行う

管理者パスワードは画面に従って任意の文字列（任意の半角英数字64文字まで）を入力してください。

管理者パスワード記入欄（パスワードはこちらに控えておいてください。）

管理者パスワードを忘れてしまった場合は、本商品を初期化して設定をはじめからやり直してください。本商品の初期化の方法は「お使いになる前に」（別冊）の「トラブルシューティング」を参照してください。

❸ ［設定］をクリックする

❹ 設定パターンを選択する

設定1	PPPoE利用指定のない場合 →CATVでご利用の場合
設定2	PPPoEを利用してID／パスワードの設定を行う場合 →FTTH（光）やVDSL／ADSLでご利用の場合

❺ 接続先の設定をする

❹で「設定2」を選択した場合は、プロバイダ／接続事業者の資料に従って設定してください。
❹で「設定1」を選択した場合は、❻へお進みください。

●接続先名：
接続先がわかるようにプロバイダの名称を任意に入力します。入力した名称が接続先の名称として本商品に登録されます。
●ユーザー名：
プロバイダの資料に従って「認証ID]（ログインID・ユーザーID）を入力します。
※プロバイダによってはIDのあとに、@ドメイン名を入れる必要があります。
●パスワード：
プロバイダの資料に従ってパスワードを入力します。
※ご契約のプロバイダによっては不要の場合があります。

❻ 入力が完了したら、［設定］をクリックする

※ 設定を間違えた場合は、本商品を初期化して設定をはじめからやり直してください。本商品の初期化の方法は、「お使いになる前に」（別冊）の「トラブルシューティング」を参照してください。

5 インターネットに接続しよう

インターネットに接続して接続状態を確認してみましょう。

❶ WWWブラウザ（Internet Explorerなど）を起動する ▶ ❷ 外部のホームページを開く
例）ホームページ：http://www.aterm.jp/manual/p/7610hv/

6 IP電話の設定をしよう

※必ずインターネットに接続したあとに設定してください。

本商品に添付の設定ガイド等をご参照のうえ、IP電話の設定をしてください。

IP電話の設定には、ご契約いただいたプロバイダ発行のIP電話に関する情報が必要です。
※IP電話の契約方法によっては、IP電話開通日がADSLの開通日と異なる場合があります。
※ご不明な場合は、ご契約いただいたプロバイダへお問い合わせください。

前面のVoIPランプが緑点灯の状態でない場合（消灯または赤点灯）は、IP電話のご利用はできません。
必ず、サービス契約および登録設定を行ってください。

設定後は、「IP電話使いかたガイド」（別冊）およびIP電話接続事業者（プロバイダ等）から送付される「IP電話ご利用ガイド」などをよく読み、通話の確認をしてください。

▶ クイック設定Webでは、IP電話をさらに快適にご利用になるための設定を行うことができます。設定方法は、「機能詳細ガイド」の「IP電話の使い方」をご参照ください。（サービス利用に対しての必須項目ではありません。）

無線LANをご利用になる場合

無線LANサービスをご利用になるためには、本商品装着用の無線LANカードと無線LAN端末（子機）が必要です。

本商品に装着する無線LANカードについて
本商品に装着できる無線LANカードはAterm WL54AGのみです。
本商品への装着については、無線LANカードに添付の取扱説明書をご覧ください。

無線LAN端末（子機）について
無線LAN端末（子機）は、別途ご用意ください。
無線LAN端末（子機）の設定については、無線LAN端末（子機）に添付の取扱説明書をご覧ください。

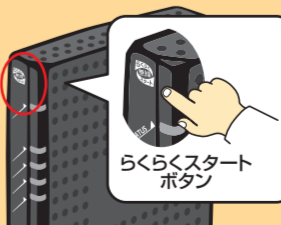
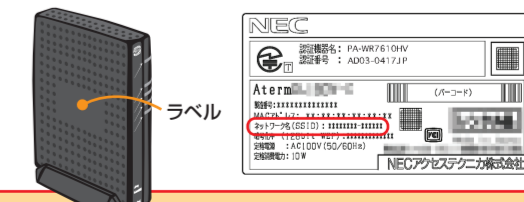
無線LAN端末（子機）にAterm WL54AGをご利用の方のみご覧ください

WL54AGの添付品に「CD-ROM（ユーティリティ集）」が同梱されている場合は、CD-ROMをご参照のうえ、接続設定を行ってください。
WL54AGの添付品に「CD-ROM（ユーティリティ集）」が同梱されていない場合は、下記URLから「ユーティリティ集」をダウンロードし、接続設定を行ってください。

http://www.aterm.jp/bb-info/

本商品は「らくらく無線スタート」対応機種です。

本商品の無線LANの設定は、らくらくスタートボタンを使って行うことができます。（「らくらく無線スタート」）
設定方法については、「らくらく無線スタート」に対応した無線LAN端末（子機）に添付の取扱説明書等をご覧ください。

※「らくらく無線スタート」に対応した無線LAN端末（子機）については、ホームページ（http://www.aterm.jp/bb-info/）にてご確認ください。

本商品には、あらかじめネットワーク名（SSID）、暗号化の設定がされています。「らくらく無線スタート」以外で設定する場合は、本商品側面のラベルに記載されているネットワーク名（SSID）、暗号化設定を参照して、無線LAN端末（子機）に添付の取扱説明書等に従って本商品と無線LAN端末（子機）との接続設定を行ってください。

マニュアルの見かた

本商品のマニュアルは次の通りです。ご使用の目的に合わせてお読みください。

お使いになる前に（別冊）
本商品をお使いいただく前にあらかじめ確認していただきたい注意事項、トラブルシューティングを記載しています。

IP電話使いかたガイド（別冊）
IP電話のご利用方法について記載しています。

機能詳細ガイド
本商品の様々な機能については、「機能詳細ガイド」で詳しく説明しています。
「機能詳細ガイド」は、ホームページに掲載しています。下記のURLからご覧ください。
http://www.aterm.jp/manual/p/7610hv/

クイック設定Webをご使用になる前に

クイック設定Webをお使いになるには、WWWブラウザ（Internet Explorerなど）の設定が以下の設定になっていることが必要です。

■JavaScript® の設定が有効になっていること
→「お使いになる前に」（別冊）の「トラブルシューティング」をご覧のうえ、JavaScript® の設定を確認してください。

■接続設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」設定になっていること
→下記を参照して接続設定を確認してください。

WWWブラウザの接続設定の確認

右記はWindows® XP/2000 Professional/Me/98でInternet Explorer Ver.6.0をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェア等）によっても変わりますので、詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

❶ Internet Explorerを起動します。
❷ ［ツール］の［インターネットオプション］を選択します。
❸ ［接続］タブをクリックします。
❹ ダイヤルアップの設定の欄で、［ダイヤルしない］を選択します。
❺ ［LANの設定］をクリックします。
❻ ［LANにプロキシサーバーを使用する］と［設定を自動的に検出する］の ☑ を外します。
※プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。